

感謝の20年間

秋田 桜介



まずはありがとう、人生は感謝の連続だと思っています。今回無事に成人式を迎えられたこと、この坂町での出会いにも感謝しありません。

僕が今まで無事に過ごしてこれたのは間違いなくお父さん、お母さんのおかげだと思っています。ありがとう、なんで僕が人生は感謝の連続だと思えるのか、それは僕が過ごしてきた20年間は感謝で溢れていたからです。僕は小学5年生からサッカーを始めました。週一でしか練習はなかったけど、サッカーを楽しむことを教えてくれ、サッカーで人と繋がれることを教えてくれたコーチへありがとう。中学では暑い夏も寒い冬も練習がありました。そんな中でも毎週試合を見にきてくださった保護者の方々へありがとう。次に

高校生、僕は3年間同じクラスの高校生活でした。ずっと同じクラスはしんどいと思っていましたが3年間一緒なのは案外楽しんでかったです。クラスのみんなへありがとう。

このように僕の20年間は感謝の連続でした。間違いなくこの感謝の糸は切れません。20歳になったこれからの人生、僕もみなさんも大きく変わっていくと思います。僕自身はこれまで出会った人、これから出会う人に感謝される人間になっていきたいと思っています。

二十歳の抱負

野坂 ひめの



この度、無事に成人式を迎えられたことを心から嬉しく思います。この20年間の人生を振り返ると家族をはじめ、地域の方々の温かい支えや見守りの中で成長してきたことを強く実感します。何気ない日常の中で交

わされる挨拶や地域行事での人のつながりは私にとってかけがえのない経験となりました。こうした日常の積み重ねが坂町ならではの温かい地域づくりにつながっているのだと改めて感じています。

20歳となり、社会的責任を持つ一人の大人としての自覚を求められる立場になりました。自分の行動一つ一つが周囲に影響を与えることを意識しながらこれからの人生を歩んでいくべきだと感じています。これまで支えられてきたことへの感謝を忘れず誠実な姿勢で物事に向き合いたい、信頼される行動を心がけていきたいです。

今後私は、留学をし坂町から離れた生活を少しの間送ることとなります。異なる文化や価値観に触れることで視野を広げ、日本や坂町の良さを改めて見つめ直したいと考えています。そこで得た経験や学びを将来は地元で生かし、地域社会に貢献できる人間へと成長することが目標です。

これから先、多くの選択や困難に直面することもあると思いますが、20歳としての責任と誇りを胸に一步一步着実に前進し

二十歳の誓い

坂本 壘



月日の流れは実に早く、気づけば成人式を迎えました。大好きな町で大好きな仲間と迎えられることを大変嬉しく思います。

現在、私は長年続けてきた野球に一区切りをつけ、早稲田大学でアメリカンフットボールという新たなスポーツに挑戦しています。東京で一人暮らしするだけでも大きな負担をかけてしまうにも関わらず、アメフトをしたいと言った時には、両親は何も言わずに応援してくれました。幼い頃から自分のやりたい

ことはなんでも本気で応援してくれる家族には、普段はあまり口にはしませんがすごく感謝していますし、この家族で良かったと心の底から思います。今のチームのテーマは一人ひとりが常に自分に対して厳しい方を選択し、チームのGROWになることです。言うのは簡単ですが、これを継続することはそう簡単なことではありません。部員同士干渉し合いながら、肉体はもちろんのこと、精神面も鍛え上げ、チームの長い歴史であと一步届いていない日本一に向けて日々取り組んでいます。もちろん坂町から遠く離れたところでの慣れない一人暮らしでこれまで当たり前になっていた家族や友達に会えないことに寂しさを感じることは多々ありますが、一人の大人として目の前のことに集中して頑張っています。私の近い目標は先ほども述べたようにアメリカンフットボールで日本一になることです。そしてその先は自分をこんなにも大きくしてくれた温かくて、大好きなこの町に帰り、高校生の頃からの夢であった、高齢者の方のためのサービスを提供する事業を立ち上げ、自分の身近な



人や坂町に住む人、ゆくゆくはもっと多くの人の手助けをすることが目標です。そのためにも私は今日もいつもと変わらず自分に対してEROOな選択をし続け、強くなります。

